

令和5年12月理事会議事録速報

取締役会と同時開催なので、役員会欄に掲載の役員会便りと同一内容です。

開催日時・開催場所・出席者

開催日時	令和5年12月16日 午後4時		開催場所	ブリックアンドウッドクラブ	
出席者 (敬称略・議長以外各50音順) リモート参加も議決権を有す。 委任は理事会のみ	取締役兼理事 13名	議 場	田井 (理事長)、木内 (代表取締役・副理事長)、上西 (クラブライフ委・副委員長)、片岡、草深、小宮山、中川、村岡、村瀬 以上 9名出席 リモート 岡崎、新田見、橋本 以上 3名出席 合計 12名出席		
		欠 席	生木(田井理事長に委任) 以上 欠席 1名		
	執行役員兼理事 2名	議 場	無し		
		リモート	無し		
		欠 席	寺島、野村(両名とも木内副理事長に委任) 以上 欠席 2名		
	最高顧問兼理事	議 場	坂 以上 1名出席		
以上理事 16名	委任状、代理を含め合計 16名出席				
監査役兼監事 2名	議場	高橋、角川 以上 2名出席			
	リモート	無し			
	欠 席	無し			
傍 聴	理事でない執行役員 4名	議 場	井口、篠本、雪 以上 3名出席		
	MFC 管理組合	議 場	出席無し 出席 0名		
	事務局	議 場	松本、柿崎 以上 2名出席		
	その他	議 場	出席無し 出席 0名		

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

議題

理事会

1. 委員会報告

① 競技委員会

(寺島委員長欠席にて、特に無し。)

② クラブライフ委員会 (上西朗弘副委員長)

・直近 (12/7) に開催されたクラブライフ委員会について、資料に基づいて報告がなされた。委員会が主催したイベント (クリスマスコンペ&パーティー) の開催状況および今後予定されているイベント (新年杯) の準備状況等につき、説明があった。

・コース内トイレの改善について、「清掃が進み過去に無いレベルで良好な状態になった」「音姫 (トイレ用擬音装置) が電池切れとなっており交換が必要」等の報告があった。

・15番の自販機のラインアップからお酒が外された件については、事務局 (雪副支配人) より、「条例への対応。メンバーに周知する。」との回答があった。

③ グリーン委員会 (村岡委員長)

・12/3に開始されたグリーン委員会について、資料に基づいて報告がなされた。フェローシップ委員会から意見が出された「グリーン上のボールマーク直し問題」については、両委員会の連名でメンバーに対するお願いメッセージを発信することとなった。

・本日(12/16)に行なわれた管理課とのミーティングについて、報告がなされた。伐採により3番の黒ティーからの視界が改善したこと、バンカーエッジの刈り込み整備等の内容が披露された。

④ 広報委員会

(野村委員長欠席にて、特に無し。)

⑤ ジュニア委員会 (橋本委員長)

・12/2にジュニアプログラムを予定していたが、申込人数が少なかったことから、11月末に中止を決定し、申し込みのあった方には、その旨のご連絡を差し上げた(しかしながら、その後に申し込みをしようとされた方から、クレームを頂戴した。)。反省点、要改善点としては、締め切り日をもっと前に設定すること、最少開催人数を事前に決め連絡すること、の2点。

⑥ ハンディキャップ委員会 (中川委員長)

・月例競技会の参加人数が増える傾向にある。特に若年層の増加が顕著。彼らは上達が速く月1回だけの査定では追い付かないため、プラスαでの特別査定を行なう事とした。競技志向の方が増えていることはクラブとしても好ましいことであり、丁寧に対応して参りたい。

⑦ フェローシップ委員会 (小宮山委員長)

・直近(11/28)に開催された委員会について、資料に基づいて報告がなされた。

・「ボールマーク修復」については、グリーン委・村岡委員長からも説明のあった通り、連名で文書を作成した。

・ジュニアプログラムにおける直前キャンセル問題が、フェロー委の場でも話題となった。ジュニア以外の大人も含めて、直前のキャンセルに対しては、キャンセルフィーを徴収するなどのペナルティを課すべきではないか。(→木内副理事長より、「関係者が多く、様々な準備を必要とするジュニアプログラムのキャンセルと通常のプレイのキャンセルとを同様に扱うべきでは無いと考えている。」との回答有り。)

・フェロー委の次年度体制について、4名の副委員長をリーダーとする4つのチームを発足させ、各副委員長に牽引してもらう体制を整えた、との報告があった

2. ICHIHARA SOUTHEND LANDMARK(仮称)エリア開発概要について

・これまで「古民家エリア」と呼ばれてきた新たな開発地(今後は「ICHIHARA SOUTHEND LANDMARK(仮称)」となる。)に関し、各施設の概要、今後のスケジュール、ビジネスプラン等について、柿崎企画部長より説明があった。

・全体的なコンセプトとして、簡易宿泊施設としての転用が可能なトレーラーハウスも含め一定数の宿泊施設を設置すること、さらにはそれに付随するレストランやドライビングレンジ等の複合施設を整備することによって、不安定になりがちなゴルフ場経営の多角化を推進するとともに、ゴルフ場本体の魅力に触れそこに誘引するための機能を併せ持った施設として開発する、との説明がなされた。

草深理事より、「宿泊施設については、将来的に第三者に所有してもらうという可能性も有るのか?」との質問が出され、これに対し坂(征)理事より、「当面は、自分の方の会社で所有し、高滝リンクスに賃貸借もしくは業務委託するという形態とする予定であるが、将来、高滝の側に余裕が出来れば、そちらで買い取るという選択肢は有り得ると思う。」との回答がなされた。

3. 当クラブの在り方について

坂(征)理事から各理事に対し、以下A～Eの問い掛けが有り、各委員会の場で議論して欲しい、との要請がなされた。本件については、木内副理事長より「各委員会において、各々の項目全てを議論することは困難であると思われるので、各委員長におかれては、自らの委員会の担当と思われる部分について議論し、その結果を次回の理事会（1/27 開催予定）の場で報告して欲しい。」との補足があった。

A 年間30人はこの数年間は新しいメンバーの入会が必要です。

勿論相続も含めてで良いのです

質問 誰がメンバーを集めるのですか

委員会毎にノルマ、新メンバー

メンバー全員が5～10年に1人

従業員が

B レストランの経営、シェフの募集は誰が

シェフ以外の従業員・パートタイマーの募集は

メニューは誰が決めるの

営業時間は

経営方針は

全て従業員が

役員会で

C フロント・会計は、人間が、女性が良い、男性でも良い

人件費の節約 機械精算

どんどん機械化 人間入らない

D コースの維持はどの様な範囲でメンバーが誰に望めるの

グリーン委員会を通してでないにだめ

マスター室でも良い

部長以上の人なら誰でも良い

E 清掃等下働きは誰の責任で募集するの

従業員募集の全てはメンバーも従業員と共同で

以上

取締役会

開催日時 令和5年12月16日（土曜日） 午後4時～
開催場所 ブリックアンドウッドクラブ デズモンド・ミュージアム 今回も理事会と同時開催。
リモート参加を可能とし、リモート参加者も出席者として議決権を有する。

議題

議決事項

(1) 株式譲渡承認について

→ 普通株2株の譲渡が、異議無く了承された。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

資料送付済

	本年11月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数（日）	30	30	0	20	0	10	0
来場者数合計（人）	3,268	2,901	385	2,046	331	1240	54
内 M	1,521	1,444	77	733	136	788	-59
G	1,269	1,005	264	823	153	446	111
V	181	161	20	175	18	6	2
N	315	291	24	315	24	0	0
ゴルフ場売上高（万円）	3,268	2,713	+555	1,623	79	1,644	476

11月の来場者数は3,268名で前年比385名の増加。（無料来場者が23名増加なので有料来場者は350名増加）

平日メンバーとゲストの増加により331名増加し、土日祝日はゲストの増加により54名増加だった。

この結果、ゴルフ場売上は、3,268万円で前年比555万円の増加となった。

12月15日迄の経過

資料添付

来場者数は1,333名で、前年同日比22名の増加中。（無料来場者が18名減少なので、有料来場者数は40名の増加中。） 平日は営業日が1日少ないこともあり48名減少し、土日祝日は営業日が1日多く70名増加

ゴルフ場売り上げは1,305万円で、前年同月比55万円増加中。土日祝日のゲスト来場者31名増加が寄与している。

(2) 最近月の入退会状況について

11月の入会は2口2名だった。期中入会者数合計5口6名。

12月は10日現在で入会手続き完了者は無いが、候補者が3名有り。

(3) 当期の料金改定検討について

前37期の決算は先月の総会で会員に報告した通り、諸物価値上がりの影響で減益となった。

当クラブの料金は永らく大幅改定を行ってないので、当期中の定改する必要が有るか検討を要するが、料金別の来場者数等のデータを揃え取締役会の検討テーマとしたい。

尚、例年12月の理事会で検討する来期年会費は、年会費見直しの基準としている基準値が、37期決算によると、基準値＝経常利益14,880千円+減価償却費24,119千円+貸倒れ引当金繰入1,300円+貸倒損失490千円+固定資産除却損+4,280-設備投資9,375＝35,694千円で、基準値40百万円に対し5百万円未満の未達なので、ギリギリ据置となる。

(5百万円超過の場合は引下げ)

尚、自動引き上げには該当しないが、もし来期変更する場合は5月までの理事会で検討することとなる。

(→以下、木内社長による補足説明：社会全般に人手不足が拡がる中、今後も採用出来るタイミングを捉えて人員を補充して行く方針であることに加え、良質な人材確保のためには、既存の従業員についての一定のベースアップも必要である。こうしたことで、人件費の増大が避けられない中、プレイフィー、プラン料金などの引き上げを行なった場合にどのような決算が予想されるかについて、現在シミュレーションを行なっているところである。)

(4) 年末一時金について

当社は賞与を支給していないが、将来業績が向上すれば賞与を支給すべく、賞与と言えるほどの金額ではないが、年1回年末に一時金を支給している。昨年の支給総額は月給制社員・時給・日給制社員合計で600万円で、月給制社員については総額が月給与の0.5カ月分だった。本年も支給総額は前年並みを予定しているが、対象人員減少の分だけ一人当たりの支給額は若干増加を予定。支給の詳細は代取一任。

(5) コースの状況について

グリーン委員会の報告に追加点が有れば報告。(→特に無し。)

(6) 施設の有効活用について

①特に報告事項が有れば報告。(→特に無し。)

(7) ミュアヘッド・フィールズ、ミュアヘッド・ミュージアムに関して

①特に報告事項が有れば報告。(特に無し。)

(8) その他

- ・年明けから、土日祝日のラウンジのラストオーダーの時間を18:45から19:45に変更する。
- ・スタート時間をもう少し早めてみてはどうか、との意見が有り、まずは平日にトライアルを行なってみた上で、メリデメを検証する、との方向性が確認された。

→上記(1)から(8)について報告を受け、協議の結果了承した。

以上